　　　　　ニカラグア定期報告(政治・経済・外交概況　2013年12月)

１　主要な動き

（１）政治

ア　憲法改正案の採択

　１０日，国会において，憲法改正案が６３票の賛成をもって採択された。本改正案には，大統領の再選禁止規定の削除，現役軍人や警官の政府公職就任の承認等が含まれていることから，野党や市民団体等は，民主主義の後退であり，大統領のさらなる権力の強化であるとして批判した。他方，同改正案には，国家が国内外の投資を保証することや，コロンビアとの領海画定問題にかかるＩＣＪ判決を踏まえた新たなニカラグア海洋領域の規定等の一般的に評価されている部分もある。憲法改正の成立には，２回の国会会期での承認が必要とされていることから，明年１月からの国会会期において再度審議されることになる。

イ　対コスタリカＩＣＪ裁判

　１２日，ＩＣＪは，ニカラグアの申請による対コスタリカＩＣＪ裁判の新たな仮保全措置につき不要との判断を下した。同審議過程では，ニカラグアは，コスタリカにサン・フアン河岸での道路建設の環境報告書の提出，道路建設の土地浸食による河の汚染を防ぐための措置をとること等を求めたが，ＩＣＪは，ニカラグア側が仮保全措置をとるべき緊急性を十分に示すことができなかった点を指摘した。ニカラグアは，今次決定について，ＩＣＪが，コスタリカが損害の発生を認めた点やコスタリカが同損害を回復しなければならない旨を留意した点を評価する，同決定は道理にかなっており，満足している旨を述べた。先のサンファン河河口の領有にかかるコスタリカに有利な仮保全措置の採択及び今次のニカラグアの申請による仮保全措置の却下による本案審議での影響が今後注目される。

ウ　林台湾外交部部長のニカラグア訪問

　１５日から１８日にかけ，林台湾外交部部長がニカラグアを訪問し，ハレスレーベンス副大統領，サントス外務大臣，レネ・ヌニェス国会議長等との会談が行われた。サントス外務大臣との会談では，ニカラグア外務省への８０万ドルの支援協定の署名が行われるとともに，林外交部長に対するホセ・デ・マルコレッタ大十字章の叙勲も行われた。当初，オルテガ大統領との会談も予定されており，ニカラグア政府関係者の多くが同部長との会談を行ったことから，ニカラグアにおける台湾の重要性を確認する事案となった。

（２）経済

　社会保険改革

　１０月に政府より発表された社会保険改革案については，民間セクターからの対案の詳細やその後の審議内容が公表されることなく，１７日，社会保険庁執行委員会で承認され，関連の大統領令が２０日の官報に掲載された。これにより，社会保険改革は明年１月１日から実施されることとなり，民間企業の負担割合を４年かけて３％増加させる，保険料の算出基準である給与の最高額が現在の３７，５１８コルドバから２年かけて約倍額にする等の変更が行われる。また，１１日に可決された２０１４年の国家予算には社会保険庁の負債負担が組み込まれ，来年以降約３５億コルドバ（約１４００万ドル）が政府から支払われることになった。

（３）日本関係

　バルトダノ・プロニカラグア会長の訪日

　２日～８日にかけ，バルトダノ・プロニカラグア会長が日本政府の招へいで訪日した。同会長は，欧州での投資誘致ミッションを訪日前にこなしており，日本においても，ＪＩＣＡやＪＢＩＣを始め，経団連や日本商工会議所等も訪問し，自然エネルギーの豊富さ等を強調しニカラグアへの投資誘致を熱心に行った。同会長は，２０１２年にも投資ミッション団長として訪日しており，治安の安定や安価な労働力等を売り材料にして，日本企業のニカラグアへの投資拡大等を期待している。

２　クロノロジー

（１）内政

２～３日　オルテガ大統領はニコラス・ロペス枢機卿来訪の機会にレオポルド・ブレネス　　　　　・マナグア大司教区司教等と会談。

１０日　国会は，憲法改正案を採択。

１１日　マナグアのコスタリカの領事館が再開。

１５日　国会が閉会。

１８日　最高裁判所は，運河関連法案に対する３１件の違憲の訴えを却下。

（２）外交

　４日　オルテガ大統領は，エルナンデス次期ホンジュラス大統領と会談（於：マナグア　　　　）。

　５日　オルテガ大統領は，マンデラ元南ア大統領の死に哀悼の意を表明。

　７日　サントス外務大臣は，マレー・マカリー・ニュージーランド外務大臣と二国間関　　　　係強化宣言に署名（於：ニュージーランド）。

　９日　サントス外務大臣は，第５回インド・ラ米カリブ諸国会議に出席（於：ニューデ　　　　リー）。

１２日　サントス外務大臣は，第４回イタリア・ラ米・カリブ諸国会議に出席（於：ロー　　　　マ）。

１３日　サントス外務大臣は，ボニーノ伊外務大臣と会談（於：ローマ）。

１３日　ＩＣＪはニカラグアの申請による新たな仮保全措置を不要と判断。

１４日　ソロルサノ通商産業振興大臣は，ＳＩＣＡ首脳会合に出席（於：パナマ）。

１７日　オルテガ大統領はペトロカリブ会議に出席（於：カラカス）。

　　　　ニカラグア外務省は，コスタリカに対してサン・フアン河付近での道路建設継続　　　　に抗議する書簡を送付。

　　　　インターポールは，エデン・パストーラ・サン・ファン河開発委員会大統領府代　　　　表をコスタリカの公共財の侵害及び森林法違反の容疑で国際手配リストに掲載。

１８日　サントス外務大臣は，林台湾外交部部長と会談。

２１日　サントス外務大臣は，エデン・パストーラ・サン・ファン河開発委員会大統領府　　　　代表に対するインターポールの国際手配について，エンリケ・カスティージョ・　　　　コスタリカ外務大臣宛に国際逮捕手配書（赤手配書）の要求の撤回を要請する書　　　　簡を発出。

　　　　オルテガ大統領はバジャドーレス元参謀本部少将を大統領府インフラ顧問（閣僚　　　　級）に任命。

２７日　アミンタ国家警察庁長官は，エデン・パストーラ・サン・ファン河開発委員会大　　　　統領府代表の国際手配について，インターポールに取り下げを要請。

３０日　オルテガ大統領は，２０１４年１月１日のキューバ革命勝利５５周年記念式典に　　　　祝辞を発出。

（３）経済

　１日　バルトダノ・ニカラグア投資振興機構(Pronicaragua)会長が日本政府の招へいで　　　　訪日。

　８日 ベネズエラの航空会社Conviasa社がカラカス・マナグア便を就航開始。

１１日　２０１４年度国家予算案が可決。

１３日　コーヒー・セクター強化のための，コーヒー栽培開発改革法案が国会で可決。

１７日　ニカラグア経済社会開発財団は第４四半期景気レポートを発表。

　　　　社会保険改革案が社会保険庁執行委員会で承認。

１８日　運輸インフラ省は，現在実施中の日本の無償資金協力によるサンタフェ橋の連結　　　　に伴い，記念式典を開催。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（了）